

年度	件名	業務内容
平成12年度	南海トラフにおける海溝型巨大地震災害軽減のための地震発生機構のモデル化・観測システムの高度化に関する総合研究 うち、南海トラフにおける地震発生確率の評価	南海トラフにおける資料を統合したテクトニクスマップを作成するとともに、要素技術の統合化について研究を行い、南海トラフにおける地震発生に関するモデル研究の結果を総合的に検討し、地震発生確率の評価を行う。
平成12年度	フィリピン海プレート周辺地域における地震断層に関する調査研究 うち、地震断層の活動特性と震源モデルとの対応関係に関する調査	台湾及びその周辺で行われてきた地震・地震断層に関する既往の研究や振興調整費で行われた調査研究をもとに、1999年台湾中部の地震における地震断層の活動特性と震源モデルとの対応関係について、総合的な検討を行う。
平成12年度～平成13年度	陸域震源断層の深部すべり過程モデル化に関する総合研究 うち、モデルの検証と高度化	既往の大地震前後に発生した地殻活動事象の時空間的変動を詳細に調査研究し、断層深部すべり過程のモデルにより予測される現象との比較及び関連する観測等との整合性の検討を通じてモデル化の検証及び高度化を図る。
平成12年度～平成13年度	雲仙火山:科学掘削による噴火機構とマグマ活動解明のための国際共同研究 うち、火道掘削・計測技術の開発及び最適化、及び加速器14C法による噴火史解析手法の開発	雲仙火山の火道掘削を行うにあたり、想定される種々の技術的問題を抽出し、掘削システム全体を設計するとともに、孔内計測について技術的検討を行う。また、加速器年代測定による火山噴火年代を正確に測定する手法を開発し、雲仙火山に適用する。
平成12年度～平成21年度	地震調査研究推進本部の広報誌の制作支援	地震調査研究推進本部の動向や取組、地震調査研究に係る成果等を取りまとめ、地震調査研究推進本部の広報誌を毎月1回刊行するための支援事業
平成12年度～平成23年度	地震調査研究推進本部の審議・活動支援	広範多岐にわたる地震調査研究推進本部の審議及び活動の効率的な推進のため地震調査研究観測データ等の分析評価の技術的支援を行う。
平成14年度	実大三次元振動破壊実験施設建設工事管理業務	実大三次元振動破壊実験施設建設工事に関連する技術的課題及び施工監理に係る技術支援を行い、建設管理業務の充実を図る。
平成14年度～平成15年度	陸域震源断層の深部すべり過程モデル化に関する総合研究 うち、陸域地震の統合モデル化指針作成	一般的な陸域震源断層の統合モデルの作成に挑むとともに、これまでに発生した陸域の地震に関するデータと比較検討することにより、深部すべり過程のモデル化の指針作成を行う。
平成21年度～平成22年度	活断層の詳細位置情報等調査	「活断層基本図」の作成のために、その基礎となる現時点で指摘されている活断層の詳細な位置情報等を中心とする基礎調査を実施する。